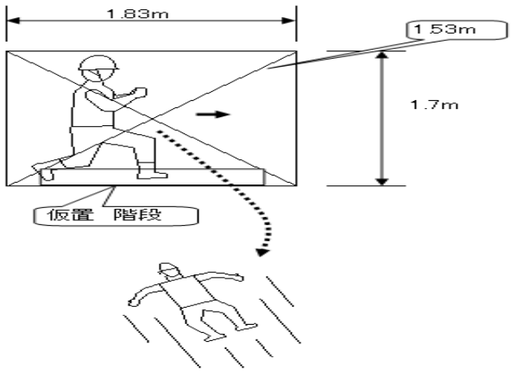
足場解体中、交差筋交いの隙間から墜落（平成21年の法改正前の事例）

墜落転落ー３

災害発生時記録						
発生月日　時	9月21日（月）　11時　15分		工事内容	商業用ビル改修ー地上5階地下1階・延べ床845m2の内外装改修（平成18年10月工事）		
被災者	職種	とび工	経験年	16	所属	元請　直営　○1次会社　1人親方　請負外契約
被災程度	右手肘・右足膝の挫傷・打撲					

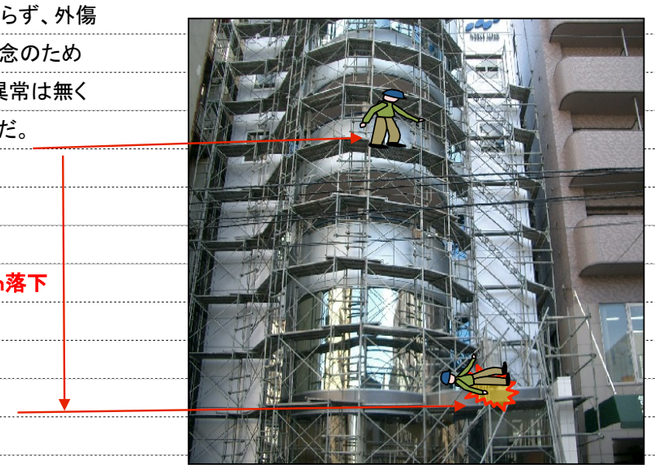
災害発生状況（写真）

外部足場解体作業中、被災者は足場上を移動している際に解体して布板上に置いてあった階段枠に躓き
バランスを崩し交差筋かいの隙間から1階のポーチ屋根に墜落。



初期の対策状況含む事項(写真含)

約7mの高さから墜落したにもかかわらず、外傷や出血などは見受けられなかった。 念のため病院で診察した結果、内臓や脳にも異常は無く肘や膝の打撲で2日間の休業で済んだ。



番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	通路上に不用意に材料を置いたこと。	◎		○	1やむを得ず通路部分に材料を置く場合は、通路の端に寄せ通行するスペースを確保する。	幸いにも被災者は30歳代で若かったせいもあり身のこなしが軽く大事に至らなかったが、死亡事故となっても不思議ではない事例です。現在は法改正で交差筋交いと下さん等の墜落防止設備が義務付けられているが、よく足場解体作業時に下さんを先行して徹去しているケースを見受けるが、本事例のようなケースもあるので墜落防止設備を先行して徹去するのは手順的に不適切である。
2	高所の危険な場所にもかかわらず、足元の確認を怠ったこと。		○		2　KY活動時に危険な場所であることを周知させ、足元注意を確認する。	

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係・該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）